

富士山 さまざまな魅力

東京新聞フォーラム開催



昨年六月の世界文化遺産登録から一周年を迎えた富士山の魅力や課題をテーマに、東京新聞フォーラム（本紙主催、「岳人」協力）が五日、東京都墨田区の江戸東京博物館ホールで開かれた。

NPO法人「富士山測候所を活用する会」理事の土器屋由紀子さん（モモ）が講演し、写真、気象観測の役割を終えた山頂測候所を借りて同法人が行っている研究や教育活動を紹介。「大気などの観測に取り組み八年

目。東京電力福島第一原発の事故や桜島の噴火の影響、雷の観測など、さまざまな分野で貴重なデータを「得ている」と話した。

この他、鹿屋体育大教授の山本正嘉さんは安全な登山の秘訣について、明治大非常勤講師の田代博さんは「富士見」の豆知識を、それぞれ語った。国内でも折りの有識者の幅広い話題に、聴講者は聞き入っていた。（フォーラムの内容は二十三日の特集面で詳報します）